

**第38回全国障害者技能競技大会**  
**<109>ワード・プロセッサ 競技課題 B**

1 和文競技（「クラシックフェスティバル」の作成）（制限時間80分）

以下の設問に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 数値はすべて半角で入力し、設問以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- フォントの選択において、指示がないものについては作成例に近い仕上がりのイメージの任意のフォントを選択すること。
- 問題の指示がない箇所においては、改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

**■文書の設定**

【設問1】新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。
- ファイル名は「選手番号 クラシックフェスティバル」とする。  
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

【設問2】用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上下左右30mm程度にする。
- 文字数と行数の指定は、「行数だけを指定」し、行数は「38行」とする。
- ヘッダーの右側（上から10mmの位置）に「選手番号 名前」を入力する。  
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。
- フッターの中央（下から10mmの位置）に「ページ数/総ページ数」を設定する。

**■1 ページ目の設定**

【設問3】タイトル「クラシックフェスティバル沖縄」をワードアートで作成する。ワードアートのスタイルは作成例を参考に設定するものとする。

- フォント：丸ゴシック体系、28ポイント
- 「クラシックフェスティバル」は茶色系
- 「沖縄」は中抜きにして光彩の効果を設定

【設問4】サブタイトル「開催概要」を入力し、以下の設定を行う。

- フォント：ゴシック体系、18ポイント、オレンジ系、二重下線、下線の色（茶色系）
- 段落：中央揃え、文字の拡大/縮小150%

【設問 5】 1「解放感溢れる～楽しみましょう！」を入力し、以下の設定を行う。

- フォント：丸ゴシック体系、11 ポイント
- 段落：行間「固定値：20 ポイント」、中央揃え
- 「野外クラシックフェスティバル」のみ、フォントの色 青系、太字
- 完成例の通り、領域上に四角形を挿入し、「テクスチャーしずく」透明度 70%で塗りつぶす

【設問 6】 「ワード・プロセッサ¥素材」フォルダの中から「楽譜.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

【設問 7】 「会場案内」を図形で挿入する。

- フォント：丸ゴシック体系
- 会場案内 図形の色：青系 フォントの色：白 枠の色：青系
- 全体 図形の色：緑系
- 海 図形の色：青系 フォントの色：白 図形の効果：ぼかし 5 ポイント
- 道 図形の色：オレンジ系
- フードエリア 図形の色：ゴールド系
- 海辺のステージ 図形の色：青系  
図形の効果：面取り（角度）、3-D 回転－透視投影（中程度の傾斜）
- ガーデンステージ 「海辺のステージ」を回転 図形の色：緑系
- 椅子席 図形の色：水色系 図形の効果：光彩（灰色、サイズ 8 ポイント、透明度 60%）
- シットイングエリア 「椅子席」を回転
- 案内所 図形の色：オレンジ系
- 有料エリア フォントの色：赤系 枠の色：赤系 枠線：点線

【設問 8】 「ワード・プロセッサ¥素材」フォルダの中から「海.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズ、図のスタイルを設定する。

【設問 9】 表を作成し、「海辺のステージ Time Table」～「チケット：1 日券・・・」までのデータを入力する。表の編集は作成例を参考に設定するものとする。

- 罫線は 2 種類設定する。
- 1 行目：フォント：丸ゴシック体系、太字 段落：中央揃え 塗りつぶし：青系  
「海辺のステージ」の前後に任意の記号を挿入
- 2 行目、1 列目：フォント：Arial 段落：中央揃え 塗りつぶし：水色系
- 「オーケストラの饗宴」「華麗なるオーケストラ」：黄色の蛍光ペンを設定
- 5 行目：フォント：丸ゴシック体系、太字 段落：中央揃え 塗りつぶし：青系  
「5,000 円」に二重取り消し線、「前売り割引」に割注を設定

【設問10】「海辺のステージ以外の～お過ごしください。」を入力し、以下の設定を行う。

■フォント：8ポイント

■段落：行間「固定値：10ポイント」、左インデント1字

【設問11】「オーケストラの饗宴 PICK UP」「華麗なるオーケストラ PICK UP」領域については、作成例を参考に、図形、テキストボックス、図を活用して作成する。

■図は「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「指揮者.png」

「フィギュアスケート.png」を使用する。

## ■2 ページ目の設定

【設問12】タイトル「素晴らしきクラシック音楽」を入力し、文字の効果と体裁を設定する。文字の効果と体裁は作成例を参考に設定するものとする。

■フォント：ゴシック体系、28ポイント、輪郭 青系、光彩の色 白

【設問13】「中世の時代に～誕生しました。」を入力し、以下の設定を行う。

■フォント：ゴシック体系

■段落：左右インデント1字

■領域上に黄色系で塗りつぶした四角形を挿入し、周囲にぼかしを設定

【設問14】「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「ピアノ.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズ、図のスタイルを設定する。

【設問15】見出し「名曲を生み出した作曲家たち」は、作成例を参考に図形で作成する。

【設問16】「ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト～ピョートル・チャイコフスキー」の領域は、「ワード・プロセッサ素材」フォルダから文書名「作曲家紹介.txt」を読み込み、二段組みを設定する。

■見出し：作成例を参考に段落罫線（左、下）を使用して作成する。

丸ゴシック体系、9ポイント、緑色系、太字、左インデント1字

【設問17】「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「バイオリン.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズ、図のスタイルを設定する。

### ■ 3 ページ目の設定

【設問 18】設問 15 同様、見出し「西洋音楽の歴史」「声楽の種類」「器楽の種類」は、作成例を参考に図形で作成する。

【設問 19】5 行 3 列の表を作成し、「5～17 世紀」～「生まれています。」までのデータを入力する。

- 罫線は 3 種類設定する。
- 1 列目、2 列目：フォント：太字 段落：均等割り付け 塗りつぶし：緑系
- 「弦楽器」にルビを設定
- 「調和のとれた形式美」に傍点を設定
- 3 列目：行間「固定値：18 ポイント」

【設問 20】「スタイル」～「合奏」までの領域は表で作成し、作成例を参考に書式設定を行う。

【設問 21】「劇音楽の誕生」領域については、図形、テキストボックスで作成し、作成例を参考に書式設定を行う。

【設問 22】図形（直線を 5 本）と画像を挿入し、作成例を参考に楽譜を作成する。

- 直線はすべて同じ長さで挿入し、左揃え、上下に整列、グループ化を設定する
- 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「ト音記号.png」「音符 1.png」「音符 2.png」「オーケストラ.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

### ■ 文書全体の調整

【設問 23】文書中の「ベートーベン」という表記をすべて「ベートーヴェン」に置き換える。

以上の設問に提示されていない事柄については、作成例（別紙）を参考にし、同じイメージになるように作成し、完成とする。

**第38回全国障害者技能競技大会**  
**<109>ワード・プロセッサ 競技課題B**

2 英文競技（「Okinawa」Word ファイル、PDF ファイルの作成）（制限時間60分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 以下の○付番号は、完成した文書の各セクションと対応している。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

**文書の設定**

- ① 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 Okinawa」という名前で保存。  
※選手番号とファイル名の間には半角1文字分のスペースを入れる。
- ② 用紙サイズ：A4、マージン（上3.0cm、下右左2.5cm）、とじしろ0に設定。
- ③ ヘッダーの右側に、作成例の通り、競技者氏名（ローマ字）と選手番号、作成日を入力。
- ④ ページ罫線を引く。色：赤、線の太さ：10pt

**1 ページ目の設定**

- ⑤ ワードアート「Welcome to Okinawa」を挿入。  
■フォント：Arial Black、サイズ：36  
作成例の通り、ワードアートの影、文字の輪郭（白、1pt）変形を設定する。
- ⑥ 見出しフォント：Arial Black、サイズ12、段落の背景の色：茶色  
「of Okinawa Prefecture」部分のみ 文字飾り：下付き
- ⑦ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「overview of Okinawa Prefecture.txt」を読み込み、作成例の通り、ドロップキャップを設定する。
- ⑧ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「flower.jpg」「island.jpg」「map.jpg」を挿入。  
作成例の通り、図のスタイルを設定し、配置する。
- ⑨ 図表番号を挿入。ラベル名は「Figure」とし、作成例の通り設定する。また、以下の書式をスタイル「figure」として登録し、別の図表番号にも、スタイル「figure」を適用すること。  
■フォント：Arial、サイズ：9、太字、斜体、文字の網かけ、右揃え
- ⑩ 見出しフォント：Gill Sans MT、サイズ：11、色：青、太字、囲み線

- ⑪ 箇条書き、タブとリーダー線を設定する。
- フォント：Calibri、行頭文字の色：青
  - 段落：左インデント、左揃えタブ、リーダー線は、作成例を参考に任意の位置に設定すること。

## 2 ページ目の設定

- ⑫ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの「graph.xlsx」に作成されているグラフを挿入。  
グラフは「図」として貼り付け、作成例の通り図表番号を設定する。
- ⑬ 見出しフォント：Gill Sans MT、サイズ：11、色：青、太字
- ⑭ 表を挿入する。
- フォント：Calibri ※サイズ、行間はページ内に収まるように調整する。
  - 2列目の数字に囲い文字を適用する
  - 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「spring.png」「summer.png」「autumn.png」「winter.png」を挿入。

## 3 ページ目の設定

- ⑮ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「girl.png」「shisa.png」を挿入。
- ⑯ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「history-food culuture.txt」を読み込む。
- 段落の行間：固定値 15pt
  - 見出しフォント：Gill Sans MT、サイズ：11、色：青、太字
- ⑰ 「History」～「World Heritage Sites」に段組みを設定。段区切りと境界線を設定する。
- ⑱ 「ワード・プロセッサ素材」フォルダの中から「shurijo.jpg」を挿入。  
作成例の通り、図のスタイルを設定し、配置する。
- ⑲ SmartArt「縦方向円形画像リスト」を挿入し、作成例の通り図表番号を設定する。
- フォント：Calibri
  - ※サイズ、行間はページ内に収まるように調整する。
  - SmartArtの色：カラフルー全アクセント、SmartArtのスタイル：シンプル
  - 挿入画像：「ワード・プロセッサ素材」フォルダ内の「Pork.jpg」「OkinawaSoba.jpg」「Awamori.jpg」「Chanpuru.jpg」
- ⑳ 3ページ上部に入力されている「the Ryukyu Kingdom」に、脚注「450 years from 1429 to 1879, the kingdom that existed」を挿入する。  
※脚注の適用箇所には、蛍光ペンを設定する。
- 脚注のフォント：游明朝 サイズ：8

## 文書全体の調整

- ②① フッターにページ番号を挿入し、下からのフッターの位置を 17mm にする。
  
- ②② ページの背景に、「ユーザー設定の透かし」を挿入する。  
■使用画像：「ワード・プロセッサ素材」フォルダ内の「leaf.jpg」
  
- ②③ 以上の設問に提示されていない事柄については、作成例（別紙）と同様になるように編集する。  
編集後は、上書き保存をする。
  
- ②④ 完成した文書を PDF 形式で保存する。  
■ファイル名：「選手番号 Okinawa」